

飯田市美術博物館 2028 ビジョン・基本プランの概要について

飯田市美術博物館

1 見直しの趣旨

本計画は、美術博物館のめざす姿と、その実現に向けた学芸活動の基本方針および重点目標を示す「2028 ビジョン」と、それを達成するための取組を示す「2028 基本プラン」で構成しています。

「2028 基本プラン」は、時代の変化などに対応するため、計画の期間を前・中・後期の3期に分け取組を定めることとしており、前期最終年度において、前期を総括し中期の目標、取組を設定します。

2 計画の位置づけ

「いいだ未来デザイン 2028」「飯田市教育振興基本計画」を上位計画とする分野別計画

3 見直し計画期間

全体計画期間（平成29年度～令和10年度）の内、中期4年間（令和3～6年度）

4 前期4年間の振り返りと中期への課題等

1) 前期4年間の主な取組

- ①春草記念室常設化（平成29年：春草生誕地において常に春草作品を観覧できる環境整備）
- ②展示室のリニューアル（令和元年：開館からの調査研究の蓄積を活用した地域の魅力を、実物資
料、映像、音響を使い体感し学べる環境整備とトピック展示コーナーよるタイムリーな展示）
- ③美博まつりや子ども美術学校、夏休み考古塾やプラネタリウムでの乳幼児番組の投影
- ④地域での出前講座や、展示と連動した講座や自然講座、観望会などの開催
- ⑤霜月祭の保存継承活動への支援や南アルプスエコパーク・ジオパークの普及啓発や調査活動

2) 課題等

- ①施設の利用者増に向けた気軽に来館いただける企画や施設の有効な利活用
- ②学びの多様化への対応と「学びの場」の充実と支援
- ③ICT技術の利活用
- ④貴重な作品の適切な保管や資料（史料）散逸への対応（収蔵場所の確保）
- ⑤施設、設備の老朽化への対応

5 見直しの方針

- ・「多くの方に親しまれる美術博物館」、「学びの多様化への対応」、「地域を担う人材の育成」、「ICT等の活用」を柱に事業を展開
- ・これまでの活動の継続と課題に対応した取組の実施

6 見直しの概要

(1) 2028 ビジョン (本編第3章8頁～)

- ・状況変化を修正

(2) 2028 基本プラン

① 中期達成目標と重点取組 (本編第5章26頁～)

目標	・来館者に親しまれ、学びの多様化に対応する教育普及活動と情報提供環境の構築を図ります
重点取組	・来館者が気軽に訪れ、学びたいものや美しいものに触れることのできる市民目線での事業展開とまちづくりを見据えた施設の環境整備 ・社会教育機関が連携した子どもや地域への学びの場の提供と自主活動への支援 ・展示解説や教育普及活動の充実。資料データベースの整備と、Wi-Fi環境やICT等を利活用した展示解説や教育普及の情報化 ・学芸活動を深化、発展させる体制の整備 ・他の社会教育機関と連携した収蔵場所確保に向けた検討 ・プラネタリウム投影機器の更新について検討

② 部門別主な取組 (本編第4章19頁～)

部門	取組内容
共通	・参加型や体験型の教育普及プログラムの開発やアウトリーチによる普及活動 ・子どもたちや地域の学びへの支援、学校の授業を補完するプログラムの実施 ・web等を活用した、来館できない利用者に対するサービスの提供
自然	・南アルプスエコ・ジオパークの基礎研究と普及啓発 ・気候変動の影響を明らかにする調査研究、市民等の調査研究活動支援
人文	・遠山霜月祭や地域の民俗芸能の調査記録と保存継承への支援、情報発信 ・柳田國男館、日夏耿之介記念館、遠山郷土館、天伯などを活用した事業の開催 ・歴史研究所等と連携した講座の開催や企画展示の実施
美術	・春草没後110年特別展等による春草の顕彰と作品・関係資料の増強 ・市民や研究団体との協働による伊那谷の美術の再発見 ・子ども美術学校などによる次世代の表現者の育成
天文	・ドーム映像や中継映像を利用したイベントによる施設の多目的活用 ・天文宇宙に関する各種事業の展開

7 策定の経過、パブリックコメント・協議会等からの意見への対応

- ・本編32頁以降に記載